

[参考] 先月からの主要変更点

|      | 7月月例  | 8月月例  |
|------|---|---|
| 基調判断 | <p>景気は、<u>弱さを脱する動きがみられ、緩やかに回復している。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業収益は改善し、設備投資は緩やかに増加している。</li> <li>・個人消費は、<u>持ち直している。</u></li> <li>・雇用情勢は、<u>厳しさが残るものの、改善に広がりが見られる。</u></li> <li>・<u>輸出、生産は横ばいとなっている。</u></li> </ul> <p>先行きについては、<u>企業部門の好調さが持続する中で、家計部門も改善しており、世界経済の着実な回復に伴って、景気回復は底堅く推移すると見込まれる。</u>一方、<u>情報化関連分野で見られる在庫調整の動きや原油価格の動向等には留意する必要がある。</u></p> | <p>景気は、<u>企業部門と家計部門がともに改善し、緩やかに回復している。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業収益は改善し、設備投資は緩やかに増加している。</li> <li>・個人消費は、<u>緩やかに増加している。</u></li> <li>・雇用情勢は、<u>厳しさが残るものの、改善に広がりが見られる。</u></li> <li>・<u>輸出は持ち直し、生産は横ばいとなっている。</u></li> </ul> <p>先行きについては、<u>企業部門の好調さが家計部門へ波及しており、国内民間需要に支えられた景気回復が続くと見込まれる。</u>一方、<u>原油価格の動向が内外経済に与える影響等には留意する必要がある。</u></p> |
| 政策態度 | <p>政府は、<u>6月21日、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2005」を閣議決定した。</u>今後、<u>本基本方針に基づき、構造改革を加速・拡大する。</u></p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、重点強化期間におけるデフレからの脱却を確実なものとするため、政策努力の更なる強化・拡充を図る。</p>  | <p>政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2005」に基づき、<u>構造改革を加速・拡大する。</u></p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、重点強化期間におけるデフレからの脱却を確実なものとするため、政策努力の更なる強化・拡充を図る。</p>   |

|      | 7月月例              | 8月月例                                 |
|------|-------------------|--------------------------------------|
| 個人消費 | <u>持ち直している。</u>   | <u>緩やかに増加している。</u>                   |
| 輸出   | <u>横ばいとなっている。</u> | <u>持ち直している。</u>                      |
| 輸入   | <u>横ばいとなっている。</u> | <u>緩やかに増加している。</u>                   |
| 倒産   | <u>減少している。</u>    | <u>これまで減少が続いていたが、このところ横ばいとなっている。</u> |

(注) 下線部は、先月から変更した部分。